

従業員とともに

従業員の「誇り度」向上推進

「ブラザーらしさ」を継承していくために

「チームブラザープロジェクト」

若年層従業員が徐々に増加する中、「ブラザーらしさ」をどう継承していくか、また、従業員の「誇り度」を向上させ、やりがいを持って働ける環境を維持するにはどうすればよいのか、これらの課題に取り組むために、ブラザー工業は2008年度「チームブラザープロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトは、活動を推進する役割を担うファシリテーターが全部門より選抜され、部門毎に課題を分析し、年間目標を立てて改善を継続している点が大きな特徴です。各部門で自律的な取り組みを進めるとともに、全部門のファシリテーターが出席する定例会を行い、それぞれの活動の共有や、各種事例をもとにしたディスカッション、会社業績を学ぶ機会などを設け、情報共有を図っています。



定例会でディスカッションするファシリテーター

誰もがチャレンジできる会社を目指して

こうした全社的で、継続的な活動の成果は、全従業員を対象とした従業員意識調査の結果に表れており、「誇り度」の値は年々上昇してきました。

さらに、2014年度からは全社をあげて「チャレンジ風土の醸成」に取り組んでおり、チームブラザープロジェクトにおいても、チャレンジできる環境づくりを積極的に進めていく方針です。誰もがチャレンジできる前向きな雰囲気や、安心して取り組める環境づくりを進めています。

従業員とともに

従業員の「誇り度」向上推進

働きがいのある会社ランキング、17位にランクイン

ブラザー工業は、7年連続で「働きがいのある会社」に選ばれました

ブラザー工業は、Great Place to Work® Institute Japan (以下、GPTWジャパン)による「働きがいのある会社」調査で、17位*1にランクインしました。ベストカンパニー*2に選ばれたのは、2010年に初めてこの調査に応募*3して以来、7年連続7回目となります。この「働きがいのある会社」調査は、GPTWジャパンが参加企業にアンケートを実施し、その評価を行うものです。「従業員へのアンケート」と「会社へのアンケート」の二つが実施されますが、そのうち従業員の声により重視される(評価の重みが全体の3分の2を占めます)、ユニークな調査です。

ブラザー工業が今回高く評価された項目(ベストカンパニー25社の平均を上回る主な項目)は、以下のとおりです。

- ・ 温かい雰囲気のある会社である
- ・ 従業員を解雇するのは「最後の手段」とされていると思う
- ・ 仕事と生活のバランスを取るよう奨励されている
- ・ この会社の労働環境は、安全で衛生的である
- ・ 私は、この会社で長く働きたいと思う

ブラザーグループが進める「CSR経営」は、ステークホルダーの皆さんからの信頼を目指すものです。上記で高評価となった各項目は、私たちがお客様や社会に向け、継続的に信頼を積み重ねていくためにも大切なことと考えています。これからも、こうした客観的な評価で自分たちの取り組みを振り返りながら、よりレベルの高い「働きがいのある会社」を、そして従業員にとって誇りの持てる会社を目指していきます。

*1: 2016年版 日本の「働きがいのある会社」ランキングについては、

「GPTWジャパン」のサイト(<http://www.hatarakigai.info/ranking/index.html>) でご覧いただけます。

*2: 今回は、従業員1,000人以上の大規模部門で上位25社が選出されています。

*3: 評価方法など詳しくは「GPTWジャパン」のサイト(<http://hatarakigai.info/investigation/technique.html>) で確認できます。



ベストカンパニーに贈られた認定のロゴ